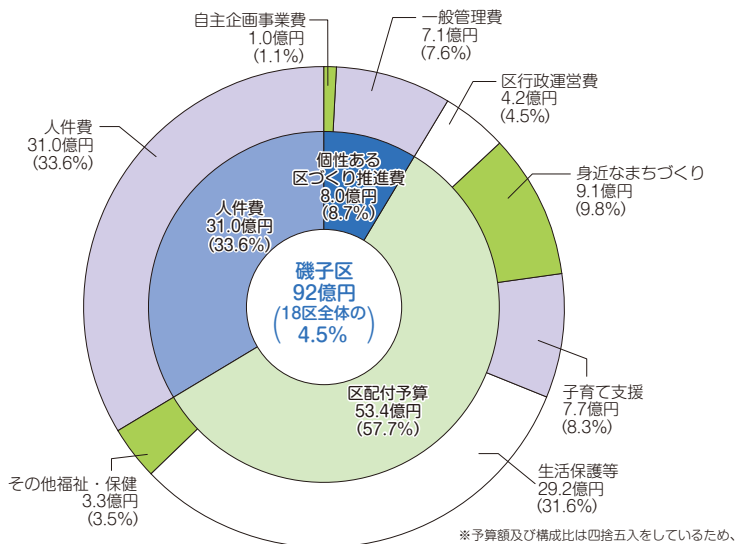


### 磯子区の予算(平成30年度一般会計予算)

平成30年度に磯子区が執行する予算の規模(区の人件費を含む)は、下の円グラフのとおり、約92億円で、18区の予算全体のおよそ4.5%を占めています。

これは、磯子区民16万6,430人(推計人口:平成30年4月1日現在)の一人あたりに換算すると、約5万5,278円を支出していることとなります。



#### ◆予算の分類

区の予算は次のとおり大きく3つに分けることができます。

#### ■「個性ある区づくり推進費」……………約8億300万円

磯子区の予算の8.7%を占めています。この中には、「自主企画事業費」と「一般管理費」があり、区の裁量に基づき自律編成する予算です。

#### ■「区配付予算」……………約53億3,500万円

磯子区予算のうち57.7%を占めています。局から予算配付を受け、区が執行する予算です。

#### ■「人件費」……………約31億200万円

磯子区予算のうち33.6%を占めています。磯子区の職員及び臨時的任用職員の人件費で、退職手当等は除いた試算額です。

(磯子区総務課)

#### <横浜市の財政情報>

「ハマの台所事情」は、予算や財政状況をわかりやすく説明した広報冊子です。区役所1階の広報相談係、横浜市市民情報センターなどで配布しています。

知ってほしい  
横浜市の財政情報  
ハマの台所事情

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/zaisei/daidokoro/>

# 選挙

## ◆各選挙の投票率 ～政治参加のバロメーター「投票率」は国政選挙と地方選挙で大きな差に～

各選挙の投票率をみると、投票率は近年共通して低下傾向にあります。また、国政選挙と地方選挙では投票率に顕著な差があり、地方選挙の投票率の低さが目立ちます。

### 【地方選挙】

#### 〈統一地方選挙(数値は市議会議員選挙のもの)〉

	平成15年 4月13日	平成19年 4月8日	平成23年 4月10日	平成27年 4月12日
磯子区	51.6%	50.5%	48.3%	43.5%
横浜市	49.5%	48.2%	46.7%	42.0%

#### 〈市長選挙〉

	平成18年 3月26日	平成21年 8月30日	平成25年 8月25日	平成29年 7月30日
磯子区	38.0%	68.8%	30.0%	38.1%
横浜市	35.3%	68.8%	29.1%	37.2%

### 【国政選挙】

#### 〈衆議院議員総選挙(数値は小選挙区のもの)〉

	平成21年 8月30日	平成24年 12月16日	平成26年 12月14日	平成29年 10月22日
磯子区	68.8%	59.1%	53.4%	51.0%
横浜市	68.9%	60.5%	54.1%	51.6%

#### 〈参議院議員通常選挙〉

	平成19年 7月29日	平成22年 7月11日	平成25年 7月21日	平成28年 7月10日
磯子区	58.6%	57.5%	55.2%	56.4%
横浜市	57.5%	56.7%	55.5%	56.5%

(磯子区総務課)

## 〈区別投票率〉 ～18歳選挙権と比較して～

磯子区の投票率は、横浜市長選挙(平成29年7月30日執行)が38.1%(7位)、18～19歳までの投票率が29.8%(8位)と、横浜市全体と比べて、やや上回り、第48回衆議院議員総選挙(平成29年10月22日執行)では、51.0%(14位)、18～19歳までの投票率が41.4%(10位)と、やや下回る結果となりました。

### 平成29年横浜市長選挙

区	投票率(%)			
	総計	順位	18～19歳	順位
鶴見区	33.2	18	25.1	18
神奈川区	35.4	16	29.0	13
西区	37.6	8	31.0	3
中区	35.5	15	29.1	12
南区	35.5	14	28.1	15
港南区	39.6	4	30.6	5
保土ヶ谷区	37.2	10	29.4	10
旭区	37.4	9	27.9	16
<b>磯子区</b>	<b>38.1</b>	<b>7</b>	<b>29.8</b>	<b>8</b>
金沢区	41.1	2	29.7	9
港北区	36.2	11	30.8	4
緑区	38.9	6	30.0	6
青葉区	35.7	13	31.4	2
都筑区	35.4	17	29.9	7
戸塚区	39.9	3	29.2	11
栄区	42.1	1	32.7	1
泉区	39.2	5	28.8	14
瀬谷区	35.8	12	25.6	17
横浜市	37.2	-	29.4	-

### 第48回衆議院議員総選挙(小選挙区)

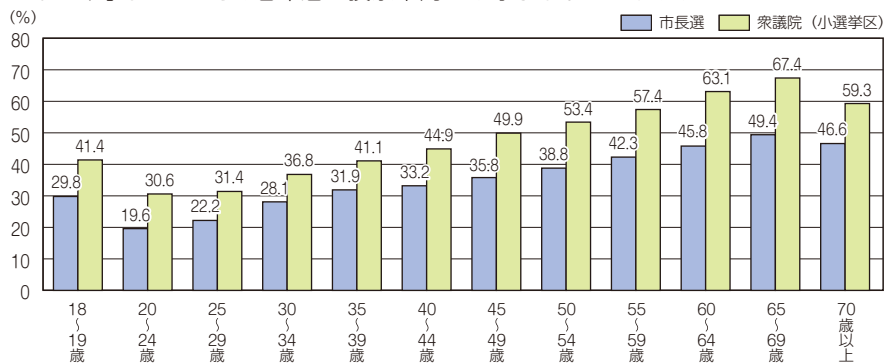
区	投票率(%)			
	総計	順位	18～19歳	順位
鶴見区	47.0	19	37.4	18
神奈川区	48.9	16	41.2	11
西区	51.1	13	44.0	6
中区	47.8	18	39.6	16
南区	48.2	17	38.9	17
港南区	53.4	5	42.1	8
保土ヶ谷区	52.1	9	42.1	9
旭区	52.7	8	40.8	14
<b>磯子区</b>	<b>51.0</b>	<b>14</b>	<b>41.4</b>	<b>10</b>
金沢区	54.5	4	40.7	15
港北区	51.5	11	44.6	3
緑区	51.3	12	42.5	7
青葉区	54.8	3	48.0	1
都筑区①※	51.8	10	44.1	5
都筑区②※	55.5	2	44.3	4
戸塚区	52.7	7	41.1	13
栄区	56.5	1	45.6	2
泉区	52.9	6	41.2	12
瀬谷区	49.2	15	35.9	19
横浜市	51.6	-	42.1	-

※第48回衆議院議員総選挙から都筑区では開票区が①神奈川7区、②神奈川8区に分かれています。順位は市内開票区(19か所)から数値の高い順になります。

(磯子区総務課)

### 〈年齢別投票率(磯子区)〉～若年層の投票率が低い状況が続く～

横浜市長選挙(平成29年7月30日執行)、第48回衆議院議員総選挙(平成29年10月22日執行)ともに20代～30代前半の投票率が低いのが目立ちます。このような状況を受け、磯子区選挙管理委員会では、「せんきょフォーラム」「磯子まつりでの啓発」「こども向けコンサート」などにより、若年層の投票率向上を呼びかけています。



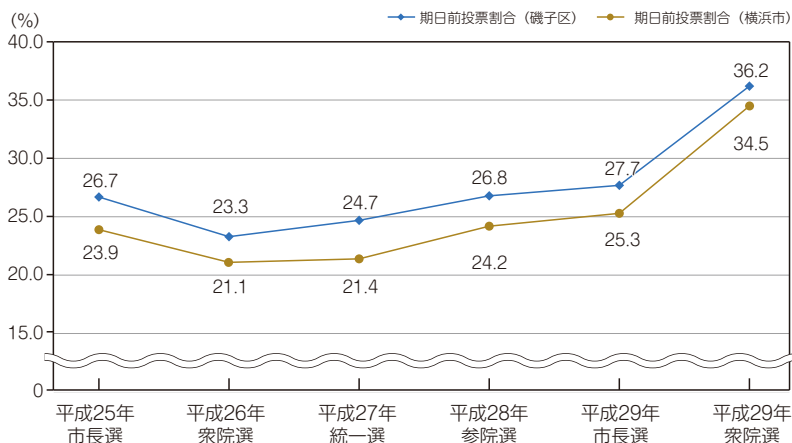
(磯子区総務課)

### ◆期日前投票割合の推移 ～期日前投票者の増加～

磯子区では、横浜市全体と同様に、各選挙における投票者数に占める期日前投票者数が増加傾向にあります。磯子区は投票者数に占める割合が、市全体よりも常になくなっていきます。

磯子区には選挙日前に投票できる期日前投票所が、2か所(区役所区民ホール・はまぎんこども宇宙科学館)あります。なお、当日投票所は全36か所あります(平成29年衆議院議員総選挙時)。

期日前投票は仕事がある場合やレジャー・旅行など投票日に出かける場合にご利用できます。



(磯子区総務課)

## 磯子区の歴史年表

＜ 内の数は平成30年6月1日現在のものです。

元号	年月日	出来事
昭和2年	10月1日	区制施行により磯子区が誕生。同時に、鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区が誕生
	12月	西根岸町、滝頭町、丸山町、岡村町、磯子町、森町、中原町、杉田町、上中里町、氷取沢町、栗木町、田中町、峰町、矢部野町の14町で発足 磯子町に区役所・磯子警察署が完成
昭和5年	4月1日	湘南電気鉄道（現京浜急行電鉄）の黄金町～浦賀間、金沢八景～逗子間が開通。 森駅（現屏風浦駅）が開業
昭和6年	1月30日	滝頭町（現磯子一丁目）にじんかい処理所が完成
昭和12年	10月1日	磯子区制10周年
昭和16年	2月1日	軍が杉田町地先5万坪を埋め立てる。また、中根岸町を埋め立て、飛行場を開場
昭和20年	4月15日 5月29日	滝頭町、原町、中根岸町の一部521戸が空襲で焼失 西根岸上町、西根岸馬場町、滝頭町、丸山町の一部171戸が空襲で焼失
昭和21年	10月7日	区選挙管理委員会を設置
昭和22年	4月1日 4月1日 5月5日 10月1日	町内会の行政事務が区に引き継がれる 学校教育法が施行され、新学制が始まる。磯子、杉田、根岸、滝頭、浜の5つの国民学校が小学校となる（現在16校） 根岸中学校、浜中学校が開校（現在7校） 磯子区制20周年
昭和23年	3月7日 5月15日	警察制度の改革により、横浜市磯子警察署となる（昭30.7.1神奈川県磯子警察署となる） 磯子区から金沢区が分離・独立
昭和25年	5月25日	岡村公園が開園
昭和26年	4月1日	区社会福祉協議会結成
昭和30年	1月 4月1日	磯子区役所庁舎の大改築が完了 市電の八幡橋～閻門間が開通（昭47.3.31市電全廃）
昭和31年	8月3日	杉田貝塚の発掘を開始
昭和32年	10月1日 11月16日	磯子区制30周年 磯子消防署・磯子公会堂新築落成の祝典を挙げる
昭和34年	5月23日	根岸線の建設工事に着工
昭和36年	7月22日	三殿台埋蔵文化財調査委員会が発掘調査を開始（昭41.4.2国の史跡に指定）
昭和37年	4月1日	県立磯子工業高等学校が開校（現在5校）
昭和38年	5月25日	汐見台団地の入居を開始
昭和39年	5月3日	埋立地内の産業道路の全線が開通
昭和40年	7月1日	横浜プールセンター（マンモスプール）を原町に開設
昭和41年	7月19日	南部下水処理場が完成（平17.4.1「南部水再生センター」に名称変更）
昭和42年	6月10日	磯子区総合庁舎の落成式を挙げる（磯子三丁目）

元号 年 月 日	出 来 事
昭和42年10月1日	磯子区制 40 周年
昭和43年4月1日	衛生研究所が滝頭に完成
昭和44年5月13日	円海山周辺を近郊緑地特別保存地区に指定
昭和45年3月17日	根岸線の磯子～洋光台間の営業を開始
6月1日	洋光台団地の入居を開始
昭和48年8月25日	市電保存館が開館
昭和49年10月1日	南部児童相談所を洋光台に開設
10月5日	磯子センター（磯子地区センター、喜楽荘、磯子図書館）が開館（平 11.11 図書館は磯子区総合庁舎に移転）
昭和50年5月9日	第1回磯子区民会議を開催
昭和51年6月24日	県道横浜逗子線（笹下釜利谷道路）が開通
昭和52年10月1日	磯子区制 50 周年
昭和56年2月26日	横浜市南部地域シルバー人材センターが開所（平 2. 4 「シルバー人材センター 磯子事務所」に名称変更）
昭和58年5月1日	いそご海づり場が根岸湾の埋立地である新磯子町の最先端に完成（平 14.10.1 「磯子海づり施設」に名称変更）
10月29日	区のシンボルマークを制定
昭和59年1月18日	環境事業局磯子輸送事務所が開所（平 17. 4 「資源循環局磯子輸送事務所」に名称変更）
5月4日	横浜こども科学館が開館（平 20. 4. 1 「はまぎん こども宇宙科学館」の愛称へ）
昭和60年8月1日	市南部地域療育センターが開所
昭和61年3月	都市計画道路環状2号線（笹下地区）が完成
昭和62年2月15日	磯子スポーツセンターが開館
10月1日	磯子区制 60 周年 区の木「梅」、区の花「コスモス」を制定
10月6日	久良岐能舞台が開館
平成元年7月5日	金沢シーサイドラインが開通
平成5年9月4日	洋光台駅前公園こどもログハウスが開館
平成6年4月1日	根岸在宅支援サービスセンターが開所（平 7. 1 「根岸地域ケアプラザ」に名称変更）
4月19日	根岸地区センターが開館（現在4か所）
11月8日	磯子区生涯学習支援センターが開所（平 21. 3.25 から「いそご区民活動支援センター」）
平成8年8月1日	新杉田駅前に行政サービスコーナー、地域ケアプラザ、通所授産施設「ぼこ・あ・ぼこ」の複合施設を開設
平成9年9月2日	洋光台地域ケアプラザが開所
10月1日	磯子区制 70 周年
10月25日	区の木・区の花のデザインマーク、区のイメージソング「みんなの I S O G O」を制定
平成11年4月14日	環状3号線（南側区間）が開通
7月14日	国道 357 号線（新杉田町～新磯子町）が開通
平成11年8月1日	脳血管医療センターが万治病院跡地に開院、併せて老人保健施設が開所（平 27.1 脳卒中・神経脊椎センターに名称変更）
10月18日	磯子土木事務所が磯子三丁目に移転
11月15日	磯子区総合庁舎（区役所、公会堂、図書館）が改築され、業務を開始

## 元号 年 月 日

## 出 来 事

平成12年4月1日 8月1日	磯子第二ポンプ場の供用を開始 磯子地域ケアセンターが開所（平 15. 4. 1 から「磯子地域ケアプラザ」）
平成13年2月15日 10月22日	磯子区福祉保健活動拠点が開所（平 21.12.13 「こすもす広場」に愛称決定） 高速湾岸線の杉田～三溪園間が開通
平成14年1月1日 9月1日	磯子福祉保健センターが開所 横浜市総合防災訓練を実施（石川島播磨重工業内グラウンド）
平成15年2月1日 8月	根岸なつかし公園が開園 磯子区まちづくり方針（都市計画マスタープラン・磯子区プラン）策定
平成16年3月1日 5月15日	滝頭地域ケアプラザが開所 磯子区青少年図書館を転換し滝頭コミュニティハウスが開館（現在7か所）
平成17年1月4日 1月16日 2月5日 3月28日	いそご地域活動ホーム「いぶぎ」が開所 ＪＲ洋光台駅近くに「洋光台防犯活動本部」が開所（防犯活動拠点は現在10か所） 磯子区民文化センター「杉田劇場」が開館 環状2号線屏風ヶ浦バイパスが開通
平成18年4月1日 6月30日 11月1日	磯子区地域福祉保健計画の案内役「梅さん」を制定 横浜プリンスホテルが閉業 屏風ヶ浦地域ケアプラザ、生活支援センターが開所
平成19年5月14日 10月1日	磯子・海の見える公園が開園 磯子区制 80 周年
平成20年11月1日	よこはま南部ユースプラザが開所
平成21年3月25日	いそご区民活動支援センターが開所
平成22年1月19日	磯子区地域子育て支援拠点「いそぴヨ」 グランドオープン（体験利用は平 21.11.27 より開始）
平成23年4月1日 9月1日 10月3日	上笹下地域ケアプラザ開所 区のマスコットキャラクター「いそっぴ」を制定 たしがしら会館の市民利用開始 水道局磯子・金沢地域サービスセンターが磯子三丁目に移転
平成25年5月15日	水取沢小学校跡地公園が開園
平成26年3月31日	国道 357 号線（中区千鳥町～磯子区新磯子町）が開通
平成27年7月5日 11月16日	シーサイドライン開業 25 周年 磯子区在宅医療連携拠点相談室「かけはし」が開所
平成28年3月31日 4月1日	水道局磯子・金沢地域サービスセンター閉所 洋光台水道事務所開所 県立汐見台病院が医療法人社団康心会へ移譲
平成29年3月26日 3月31日 7月20日 10月1日 11月28日	杉田臨海緑地の拡張と杉田臨海緑道の完成 新杉田行政サービスコーナーが開所 新杉田行政サービスコーナー跡に「新杉田交流スペース」が開所 磯子区制 90 周年 磯子区青少年の地域活動拠点「イソカツ」が開所
平成30年3月23日 4月8日 6月1日	磯子区まちづくり方針（都市計画マスタープラン磯子区プラン）改定 磯子区休日急患診療所移転 よこはま南部ユースプラザ移転